

平成28年9月前線に伴う出水と日吉ダム^{ひよし}の防災操作について

淀川水系桂川の水資源機構日吉ダム^{みずしげんきこうひよし}（南丹市日吉町^{なんたんしひよしちょう}）流域では、前線の降雨により、9月28日1時から29日9時までの総雨量が90mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒240立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダムでは防災操作を実施し、最大流入時に約4割（毎秒92立方メートル）の水をダムに貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、保津橋地点^{ほつばし}（亀岡市保津町下中島地先^{かめおかしほつちょうしもなかじま}）の河川の最高水位を0.04メートル低減したものと想定されます。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

平成28年9月30日（7時時点）

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

発表記者クラブ

京都府政記者室
南丹市政記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所 所長代理 ^{ささき}佐々木
住 所：京都府南丹市日吉町中^{みこ}神子^{だに}ヶ谷68
電 話：（0771）72-0171（代表）

平成28年9月前線に伴う出水と日吉ダムの防災操作について

淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、前線の影響により9月28日1時頃から雨が降り始め、28日17時から18時までの1時間の雨量が最大17mm、29日3時から6時までの3時間では29mmを観測するなど、29日9時までに総雨量90mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、29日7時40分には洪水量（毎秒150立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

29日10時50分には、ダム流入量が最大（毎秒240立方メートル）となりました。同時刻におけるダム流下量は毎秒148立方メートルであり、流入量の約4割（毎秒92立方メートル）をダムに貯留しました。

日吉ダム防災操作の概要

	流域平均 総雨量	ダムへの流入量が 最大となった時刻	同時刻における ダムへの流入量	同時刻における ダム流下量	同時刻における ダム貯留量
日吉 ダム	90mm	平成28年9月29日 10時50分	毎秒240m ³	毎秒148m ³	毎秒92m ³

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、ダム下流の保津橋地点（かめおかしほつちょうしもなかじま 亀岡市保津町下中島地先）の河川の最高水位を0.04m低減したものと想定されます。

保津橋地点における最高水位の低減効果

保津橋地点の河川水位が 最高水位となった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合 の同地点の最高水位	水位低減効果
平成28年9月29日 10時30分	3.10m	3.14m	0.04m

また、今回の防災操作と日吉ダムが無い場合の同時刻における保津橋地点の河川水位を比べると、河川の水位を最大0.25m低減したものと想定されます。

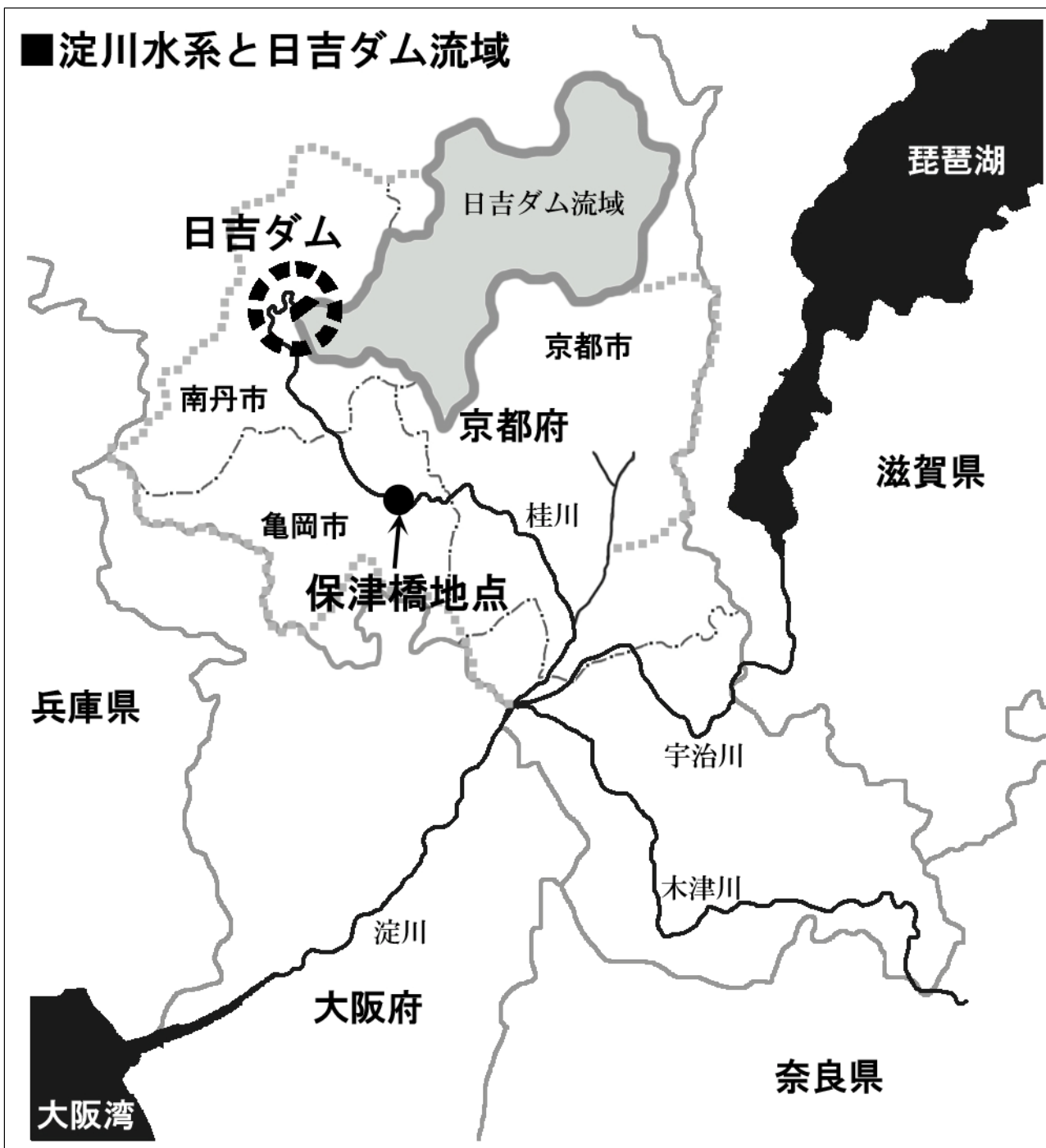
保津橋地点における河川水位の低減効果（最大）

保津橋地点の河川水位の 低減が最も大きかった時刻	同時刻における 保津橋地点の河川水位	同時刻における ダムがなかった場合の 保津橋地点の河川水位	水位低減効果
平成28年9月29日 13時40分	2.79m	3.04m	0.25m

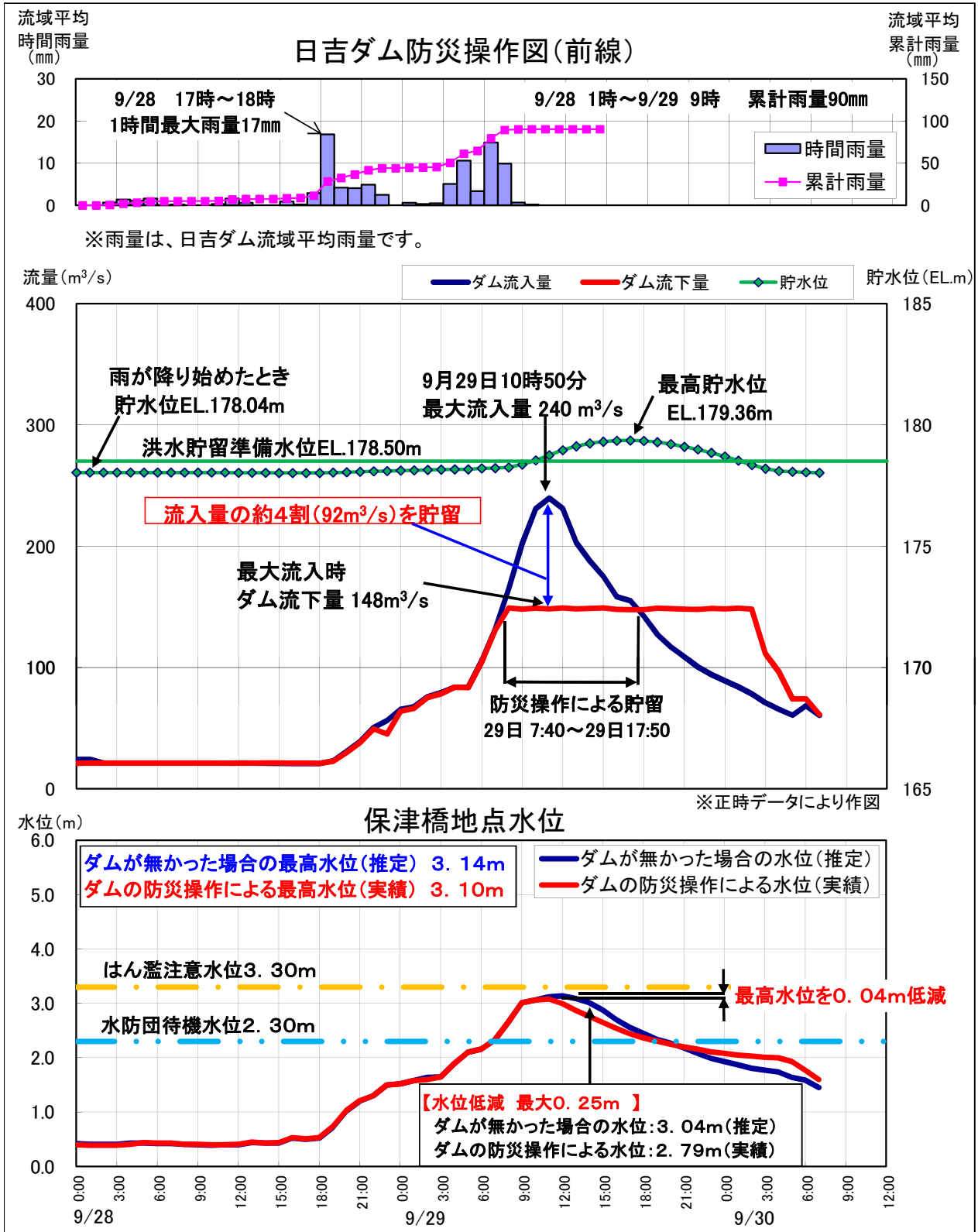
河川水位は、高い状態が続いています。十分ご注意ください。

日吉ダムでは、今後もダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

位置図



・今年2回目の防災操作を実施



管理開始(平成10年4月)以降の最大流入量大きい主な出水と今回の記録

順位	出水名	総雨量 [mm]	最大流入量 [m ³ /s]	最大流入時の ダム流下量[m ³ /s]	最大流入時の 貯留量[m ³ /s]
1	平成25年 9月 台風18号	345	1,694	148	1,546
2	平成26年 8月 前線	214	1,291	42	1,249
3	平成26年 8月 台風11号	298	913	14	899
22	平成28年 9月 前線	90	240	148	92

※ 管理開始(平成10年4月)以降の出水で、最大流入量大きい方から3番目までと今回を記載しています。

※ 数値等は速報値であり、今後の精査により変わることがあります。

平成28年9月前線に伴う出水と日吉ダムでの防災操作について

■前線の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム流域では、1時間雨量で最大17mm、降り始めからの総雨量は90mmを観測しました。この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒240立方メートルを記録しました。

■日吉ダムでは、最大流入時に約4割（毎秒92立方メートル）の水をダムに貯留し、京セラドーム大阪約1杯分（159万立方メートル）に相当する水をダムに貯め込みました。今回の防災操作により、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川の最高水位を0.04メートル低減したものと想定されます。なお、今回の防災操作と日吉ダムが無い場合の同時刻における保津橋地点の河川水位を比べると、河川水位を最大0.25メートル低減したものと想定されます。

最大流入時に約4割の水をダムに貯留し、京セラドーム大阪[※]約1杯分に相当する水をダムに貯め込み、ダム下流の河川水位の低減に努めました。（※京セラドーム大阪の容量を120万 m^3 として算出）

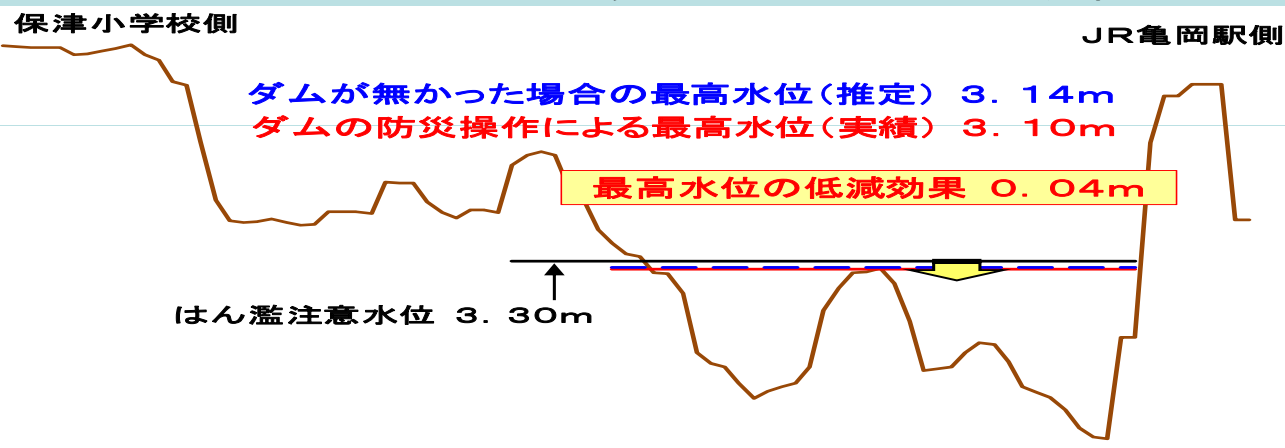
日吉ダム堤体上流面



世木ダム直下（日吉ダム上流約4.8km）



保津橋地点（保津川下り乗船場付近）での水位低減効果



※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

